



見守る福祉の
増進について
木村 俊子

【質】札幌をはじめ各地で、孤立した中で複数の家族が亡くなる痛ましい状況が続いており、このようなことが当市では起きないとは言えないのではないかと。事業者や消防などと連携し、民生委員、地域包括支援センターなどに適切につなぐ事業が必要ではないか。

【答】「高齢者等訪問見守り事業」において、当市で把握している情報や、民生委員および町内会等から入手した情報を一元管理する。その情報を基に見守りが必要な世帯を定期的に訪問し、支援を行う。



公共サービス分野の
民間開放を
松山 哲男

【質】市政執行方針上の「地域経済の振興」では、従来と変わらない観光産業振興策のあり方や今後の公共事業の発注などの考え、地域経済活性化への根本的な対応をただした。今後の行財政改革では、民間活力の導入や今後の職員数と総人件費に関連して、「コスト削減」と市民とともに公共を担う意味から、公共サービス分野の民間開放の必要性を訴え、「提案型公共サービス民営化制度」の提言や、嘱託員と臨時職員の職務などに係る規則などの必要性をただした。



臨時保育士の
処遇改善を
石山 正志

【質】正職員保育士は、平成26年度に多くの退職者が発生し、このままでは運営が厳しい。一方、保育所で働くフルタイムの臨時保育士数は、保育所全体の7割近くを占めるが、正職員と同じ仕事をする割に給料日額が低い。保育所民営化への道筋と、臨時保育士の処遇改善を求めた。

【答】現在、市立保育所民営化等検討委員会会で、さまざまな角度から検討している。民間移行は平成26年度を目指しており、また臨時保育士の処遇については、当市の実情を踏まえて検討する。



市長の二期目出馬に
ついて
上村 幸雄

【質】市長の一期四年間の総括と二期目に向けての決意について。

【答】公約では、行政改革や地域経済の活性化、市民生活を一番とした市政運営の大きく三点を掲げており、市民の皆さんや議員の皆さんにご理解をいただいていると思っております。今後もし高齢化を迎える中、市民が安全・安心な生活を送ることができるよう、案件をしっかり見極め対応していきたい。二期目に向けても皆さんのご理解をいただき、果敢に挑戦したい。



介護保険について
佐々木 久美子

【質】第5期介護保険事業計画期間における介護保険料の基準額が月3千500円、年額4万2千円の引き上げになる。特に年間所得120万円以下の非課税の方にはさらに負担となる。アンケート調査でも6割以上が「少し高い」「高い」と答えているので、値上げをすべきではないと思うが当市の考えは？

【答】基金を活用し値上げ幅を抑えているので、今期の値上げ案を改める考えはない。



津波避難ビルの
指定について
天神林 美彦

【質】市政執行方針における「危機管理の強化」に対して、津波避難ビルの指定に関する基本的な考えを質問した。

【答】当市の場合は、海岸線において該当施設が少ない現状を踏まえ、既存の商業施設や民間建築物等に協力要請する考えおよび適用への確認診断について。



当市の非正規職員の
待遇改善を
渡辺 勉

【答】東日本大震災における津波被害を踏まえ、国や北海道からの指針などを基本に関係部署と協議しながら選定基準を定めて、民間施設についても、可能な限り協力を要請していきたい。

【質】当市職員の適正化計画では、正規職員40名体制で市政を運営しようとしているが、臨時職員207名、嘱託職員108名、計315名も含めて市の業務を行っている。この非正規職員の大半が、年収200万円以下のワーキングプアである。これでは独り立ちした生活ができないことを指摘し、これら経験者を正規職員として採用することで人材の確保、労働意欲の向上にもつながると提案。市は、道の最低賃金を満たしていること、また、有給休暇制度を改善しており、正規職員化は考えていないと答弁があった。